



平成 22 年 2 月 23 日

西堀正洋教授が岡山県文化賞を受賞

<概要>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬理学分野の西堀正洋教授は、平成 21 年度の岡山県文化賞（学術部門、医学分野）を受賞しました。西堀教授は、長年継続してきた炎症反応の研究に基づき、全く新しい脳梗塞治療法を開発しました。その成果によって、社団法人発明協会（総裁 常陸宮殿下、会長 豊田章一郎）主催の平成 21 年度全国発明表彰において、『抗体医薬による脳梗塞の新規治療法の発明』で 21 世紀発明奨励賞を受賞しました。このような医学分野における学術活動が評価され、今回の受賞となりました。贈呈式は本日、午前 11 時よりピュアリティまきびで開催されました。

脳血管障害は我が国の死因の上位を占めていますが、その内約 60% は脳梗塞によるものです。現在脳梗塞の急性期治療薬として、血栓溶解薬である組換え体組織型プラスミノゲンアクチベータやラジカルスカベンジャーが臨床で用いられていますが、有効治療時間帯の制限や副作用の問題があり、より汎用性のある治療法が求められています。西堀教授らによる抗 HMGB1 単クローン抗体を用いた脳梗塞の治療法は、新規の起炎性因子 HMGB1 を標的とした抗体医薬の発明であり、既存の治療法とは作用点が全く異なっています。抗体単独での効果も非常に優れていますが、既存薬と組み合わせることによって、それぞれの特徴を最大限発揮させる新規治療法になると期待されます。高齢化社会のわが国において、脳血管疾患の予防と治療法の開発は今後ますます重要になってきますが、西堀教授らの研究成果は世界に先駆けた治療法の開発で、学術的に極めて独創的であります。今後臨床治療薬として開発されることによって、国民保健に大きく貢献することが期待されます。西堀教授はこのような研究活動とならんで、「創薬薬理フォーラム岡山」の代表世話人として岡山県下におけるの若手人材教育にも積極的に取り組んできました。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・

西堀 正洋

（電話・FAX番号）086-235-7140

（E-mail: mbori@md.okayama-u.ac.jp）